

古代インドのアングリマール伝承

— 歎異抄十三条・漢訳經典・仏伝圖像から読み解く

仏教

白須淨眞編著
▼A5判・上製カバー・480頁 定価 一四、三〇〇円

2023年5月刊行



釈迦をも殺そうとした殺人鬼アングリマールを通して、親鸞は人間存在の基底を業縁と見極めた。その宿業観へ至る思索に多大な影響を与えたこの伝承は、漢訳經典や仏伝圖像、そして九条武子、柳原白蓮にまで及び、様々な角度からせまる画期的論文集。

【目次】

第I章 アングリマール伝承の内陸アジア・東アジアへの広がり

一 「ひと千人ころしてんや」〔歎異抄〕十三条、そのはるかなる彼方

—— 親鸞が意識した漢訳經典とは 白須淨眞

(付) 第I章 一の関係資料の補遺 楊柳

二 アングリマールの漢訳語について

—— 指鬘と鬘、華鬘との相関 荒見泰史・桂弘

三 アングリマール伝承を描く仏伝レリーフと壁画、漢訳經典

—— ガンダーラのレリーフとクチャヤ石窟群の壁画を中心とする圖像の解析 楊柳

第II章 漢字仏教文化圏におけるアングリマール伝承の展開

一 鳩摩羅什から央掘摩羅へ 荒見泰史

二 「歎異抄」十三条の「宿業」と「業縁」の相関 —— 親鸞思想における「宿業」について 貫名讓

第III章 近代日本におけるアングリマール伝承

一 九条武子と柳原白蓮の指鬘外道(アングリマール) —— 相違する二人の苦悩とその諸相、武子・白蓮論をかねて 白須淨眞

◆著者略歴

白須淨眞(しらすじょうしん)

一九四九年鳥根県生まれ。博士(文学) 龍谷大学。龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了。広島大学敦煌学プロジェクト研究センター顧問。安楽寺(鳥根県邑南町)住職。

【単著】『忘れられた明治の探険家 渡辺哲信』(中央公論社、一九九二年)、『大谷探検隊とその時代』(勉誠出版、二〇〇二年)、『大谷探検隊研究の新たな地平・アジア広域調査活動と外務省外交記録』(勉誠出版、二〇二二年)等。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 定価 一四、三〇〇円	
白須淨眞編著	
古代インドのアングリマール伝承	
歎異抄十三条・漢訳經典・仏伝圖像から読み解く	
ISBN:978-4-8318-7760-4 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp